

地域シニアが子どもたちと共に遊ぶ

ともあそびへの おさそい

育てよう!

子どもは地域の宝物

触れよう!

子どものエネルギー



公益財団法人さわやか福祉財団

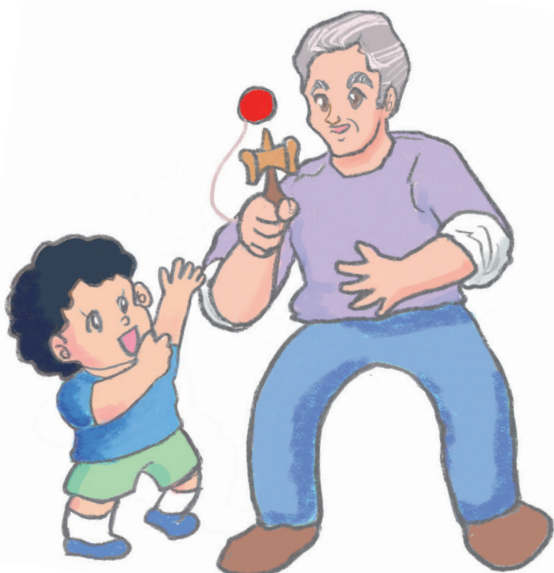
子どもは、**あそびを通して**さまざまなことを学びます。
子どもにとっては、**生活すべてがあそび**であり、**学びの場**。

親子だけでなく、**いろいろな人とあそぶことを通して**、
人に共感する力、「**共感力**」がはぐくまれていきます。

地域の宝である子どもたちを、地域みんなで育てることは
子どもの共感力をはぐくむことにつながります。

子どもを楽しませなくては、と**身構えなくても大丈夫**。
子どもだった頃を思い出して、
わくわくする瞬間を、**子どもたちと共有**してみませんか？

そして、**子どもたちの輝くようなエネルギー**に
触れてみませんか？



ともあそびで、 シニアも元気に

- 子どもからエネルギーをもらうことで、元気になる
- 外出が増え、笑顔も増えることで、健康になる
- 地域とのつながりができる
- 子どもの成長を見守ることが、生きがいにつながる

子どもと一緒にあそぶようになって、街で「こんにちは!」と声をかけられることが増えました。地域とのつながりを感じています。



子どもたちに会いたくなって、外出することが増えました! 歩いたり、一緒に体を動かすことで、体調がよくなりました。

ともあそび

いないいないばあ



いないいないばあ、マジック（隠す＋見せる等）、手あそび

人形あそび



指人形、ぬいぐるみあそび

探検あそび



散歩、森の散策、山登り、ハイキング

ごっこあそび・まねっこ



おままごと、買い物ごっこ、電車ごっこ、お姫様ごっこ、ヒーローごっこ

どんなあそびをしようか？

わらべうた



通りゃんせ、花いちもんめ、かごめ
かごめ、あぶくたった

ボールあそび



キャッチボール、中あて、ボール蹴り、
風船あそび

おにごっこ



だるまさんがころんだ、かくれんぼ、
たかおに、かげふみ

伝統おもちゃ・昔あそび



紙ずもう、コマ、けん玉、お手玉、
おはじき、だるまおとし、あやとり

ともあそび

大縄あそび



大波小波、郵便屋さんの落し物、
へびニョロニョロ

どろんこあそび・水あそび



砂場あそび、穴掘り、水あそび、
水鉄砲、雪だるま、雪あそび



子どもにとっては、

小さなともだち（子ども）
のやっていることをそばでやさ
しく見守るのも、ともあそび。



どんなあそびをしようか？

ネイチャーあそび



野外活動、どんぐりあそび、葉っぱあそび、ザリガニ釣り、虫とり、花輪づくり

やりとりあそび



かるた、トランプ、じゃんけん、まねっこあそび、あっちむいてほい、指ずもう、糸電話

生活すべてがあそびです ♥♥♥♥♥♥♥♥

大きなともだち（シニア）
のやっていることを見るのも、
子どもにとってはともあそび。

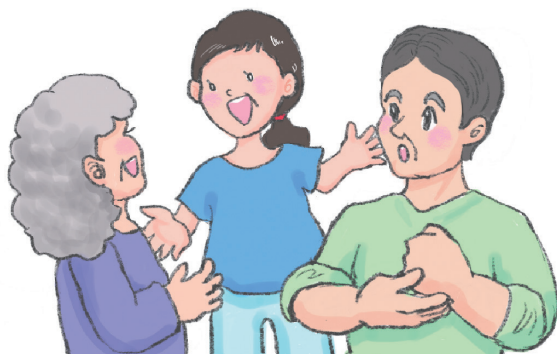


ともあそび

地域シニアは

●まずは仲間づくり!

地域で声をかけあい、ともあそびに興味のある人を募ってみる



●さあはじめよう!

地域の実情をリサーチ

- ・子どもたちが利用する施設で、ともあそびができないか?を確認
- ・自治会役員にも問い合わせを
- ・なかなか協力者が見つからない…
そんなときは、市民活動団体・NPO 設立を考えてみるのも一つの手です



施設は

●地域シニアに、ともあそびに興味のある人がいないか、呼びかけましょう

●やりたい人が見つかったら、ともあそびの場を設け、実施に協力しましょう

自治会は

●自治会で、ともあそびに興味のある人がいないか、呼びかけましょう

●やりたい人が見つかったら、ともあそびの場を見つけ、シニアの協力者を募るなどの支援しましょう



どうはじめる？

シニアが開く場

たとえば、こんな場所で

- 保育所、幼稚園、こども園など
積極的に動き、ともあそびの
機会をつくりましょう



- 自治会など地域の居場所
公園やプレーパーク

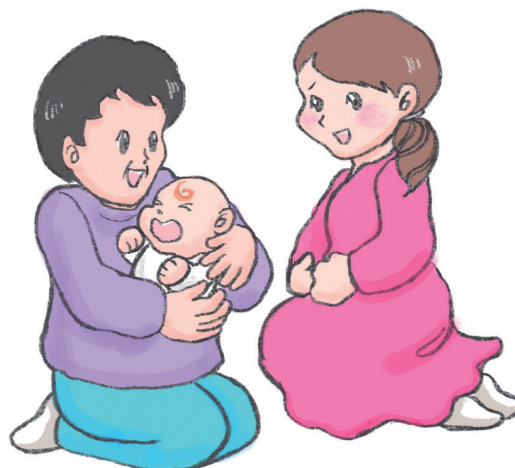
身近な場所をあらためて
ともあそびの場として
使用させてもらいましょう



自治会、NPO として 場を作る時

- 地域の居場所、プレーパーク、
公園、公民館などで、機会の
づくり方は多彩です。

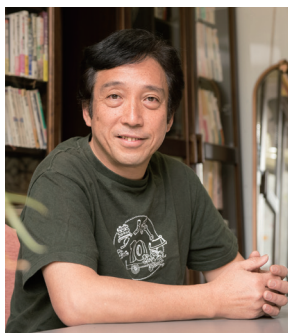
お住まいの自治体のボランティアセンター
などに「こんなことを考えている」
「こんなことをやってみたい」など、
相談に行くこともおすすめです。



ともあそび 現場の声

川崎市子ども夢パーク総合アドバイザー

西野 博之 氏



夢パークは子どもの居場所であると同時に、大人たちのつながりの場でもあります。地元のシニアも一緒になって餅つき会を開いたり、ベーゴマをしに来ていたり、元保育士がママたちの子育ての相談にのったりしています。

高齢者と子どもが、当たり前と一緒にいる社会は、とても豊かです。大人は子どもたちから、ものすごいエネルギーをもらえます。子どもは地域の宝です。「ともあそび」は、社会全体を豊かにしてくれるプロジェクトです。



社会福祉法人江東園経営企画本部長

杉 啓以子 氏



高齢者の中で過ごし、共感力が育った子どもたちが、江東園に帰ってきてくれます。小学生が入居者に会いに来たり、中学生が自らボランティアをしたいと訪ねてきたり。保育士、介護士になった卒園児もいて、江東園で何人も活躍しています。

子どもは未来の光です。何としても子どもたちを守って、世の中を明るくともし続けてもらいましょう。

皆さんも一緒に、地域のお役に立てるこのプロジェクトに参加しませんか。始めましょう、「ともあそび」！



ともあそび 小さなともだちの パートナーとして知っておきたいこと

好奇心

「見て!」「聞いて!」に
応えることは、
子どもの好奇心を
伸ばします。



本当の気持ちを 理解する

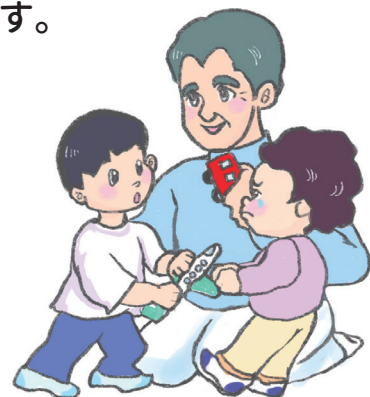
どうしてそういう気持ちに
なったのかに耳を傾けてあげると、
子どもの心は落ち着きます。

怖かったね。
痛かったね。



気持ちを生かす

関わる大人が、「こうしなさい」
ではなく「こうしてみたら?」
と提案すると、子どもは自分で
考えたとおりに遊べて楽しい!と
感じます。



子どもは、時にはだだをこねたり、「もうできない」とすねたりすることもある。そんなときは気持ちを受け止め、「嫌だったね」「悔しかったね」と共感を言葉にすると、子どもは「認めてもらえた」と感じます。子どもが自分の気持ちを素直に表現して大丈夫だと感じる体験をすることは、周囲に共感する力「共感力」をはぐくみます。



発 行	公益財団法人さわやか福祉財団
制 作	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所
検討委員	内田伸子(お茶の水大学名誉教授) 杉啓以子(社会福祉法人江東園経営企画本部長) 田中千晶(東京家政学院大学教授) 西野博之(認定NPO法人フリースペースたまりば理事長) 藤原佳典(東京都健康長寿医療センター研究所研究部長) 堀田 力(公益財団法人さわやか福祉財団会長) 清水肇子(公益財団法人さわやか福祉財団理事長)
発行年月日	2021年11月
U R L	https://www.sawayakazaidan.or.jp/